



No. 7

発行所 山形県手をつなぐ親の会事務局
社団法人 山形市旅籠町1丁目10番90号
山形県社会福祉会館内
TEL 山形(3) 6572
印刷所 K.K. 誠文堂印刷所

第六回精神薄弱者手をつなぐ親の会

東北ブロック大会に連なつて

例年の様に東北ブロック大会が今度青森県で開催され、平素の体験と当面の問題点等を通じて、精神薄弱者の幸せのため施策の促進をはかることになりました。

互いに堅く手を手をつないで精神薄弱者の幸せの為に福祉の向上を図ることを目的とされた東北ブロック大会が今度当番県である青森県で去る十月九日(日)開催され、山形県側から十一名の参列者をみて終始意義ある大会をもたれました。

特に今回永年精神薄弱児にたいして献身的な指導の劇務にあたつてきました滋賀県立信楽学園長の池田太郎先生をまじえて、精神薄弱児の問題点について、参会の皆さんによりき指導法を教えられましたのが力強く存じました。また今度の大会に於て当県から体験発表者として山形市の鈴木すい氏が力ある精神薄弱児の在宅指導訓練について体験発表をおこない参会者一同に深い感銘と勇気を与えられたことは大変誇りに存じた次第です。

愛子をもつ親の立場からと云うよりは愛子の立場から親達並びに指導者達に体験の歩みをモクモクと発表された鈴木氏は正に栄光に輝いていました。この子をもつことに於いて私達は本当の幸福を見出すことを知り、また他面では本当の苦難をなめることを知り得ることは感謝に思えます。

フランスの哲学者であり数学者であるパスカルは本当の幸福とは本当の悲痛をなめた者でなければ見出すことの出来ないものであると云われたが、私達はこの言葉から一理を感ぜずにはおれない点があります。大会に於いて、講師として招きました信楽学園長池田太郎先生は「青年期及び青年後期におけるこの人たちのしあわせをもとめて」と云う演題で、約一時間半に亘つて信楽学園の創立当時から今日までの歩みをお話しされ、その間に於ける子供達の成長を観察して力強い確信と希望をもつて打ち戦つておられる体験をきいて私達は励まされた次第であります。

精神薄弱児の機能力限界

太 田 清 雄

精神薄弱児とは、内部欠陥や外部欠陥等いろいろな原因で精神(知能)の発育が遅滞しているのをいいます。例えば論理的な思考、推理、類似、法則などの抽象、原因、構成等の分析というような抽象的、知的な能力の精神の遅滞を精神薄弱児(者)といふのであります。

しかし精神薄弱児と云つても知恵おくれの差はさまざまで軽度、中度、重度(魯鈍、痴愚、白痴)といった生み出し、錬達は希望を生み出すことを知つている親の会は益々この子らの幸せの為に熱意と勇気を結集して邁進したいと血、肉踊るの昨今であります。

なお大会での席上、表彰者並びに感謝礼状贈呈者には、当県から鶴岡市立第三中学校特殊学級担任渡部知子先生と山形市立松原学園指導員加藤穆子先生の二名を山形県手をつなぐ親の会で推薦して、感謝状が贈呈されました。語るまでもなく両先生の精神薄弱児に対する献身的な働きは山形県手をつなぐ親の会と致しまして深く感謝の意を捧げている次第であります。東北大会に出席を許されました私達は明日に生きぬいて行く精神薄弱児の幸せのために広く社会の理解と、親達相互の結束を固めようと叫びつつ爽秋の時下青森県を後にして家路に急いだのです。

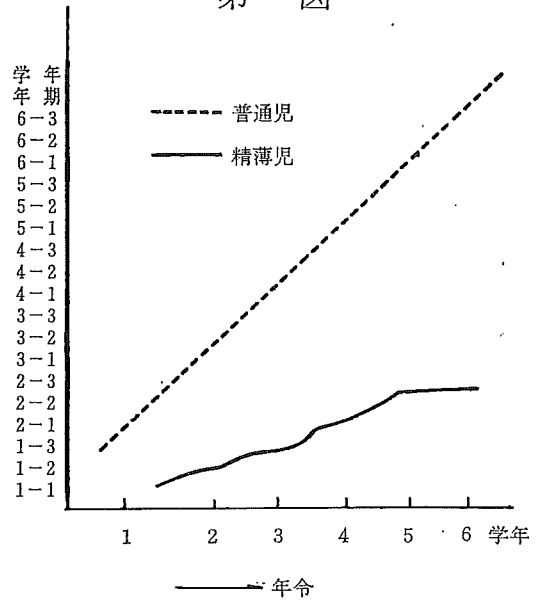
それについては専門医達は各部門から検査しまして脳障害の原因を突き止めるのですが特別な器質的な障害のある場合を除いては大体三〜四歳

ぐらいまでには基本的な兆候を発見されるそうです。代表的なものとして知覚、聴覚、言語、視覚に異常を示した場合です。だがこれらの障害が脳からきているものか、他の原因によつてきているものか検査してみなければなりません。なんといつても精神遅滞児には早期発見が非常に大切なことで、それによつて知能の改善が左右されるのです。

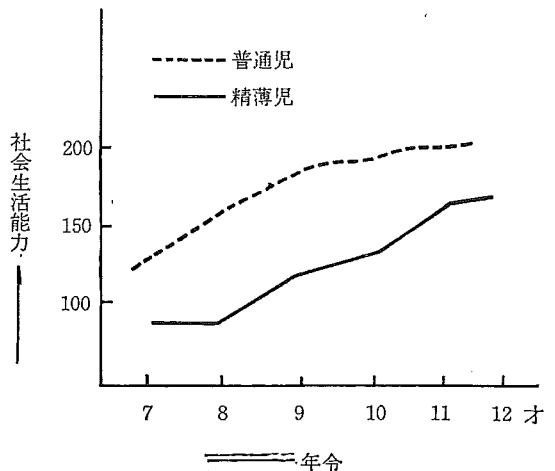
そこで私はここで「精神薄弱児の機能力限界」と云う問題について日頃の勉強から生みだした要点を二・三述べてみたいと存じます。

先ず第一に精神遅滞児といつても具体的な生活能力は案外身につけていない児童もいる。これは家庭生活に於ける子供の仕付が大きくプラスしておるのですが精神遅滞児には、このようにならざるをえないのであります。なぜならば知能と実社会の中で生活する能力とは必ずしも一致しないといつていい(青少年問題研究会編「精神薄弱児の職業能力」)アメリカのE・A・ドルという学者は精神遅滞児について知能テスト「学業テスト」と「社会生活テスト」を研究した結果をグラフにして示めている

第一図



第二図



そのひらき大きくならない。要するに精神遅滞児でも生活能力は年令とともに少しづつ伸びて行く傾向があると云うことです。

この点について私も二・三人の精神遅滞児が実社会の中に入つて自立生活しているものを見ている。彼らの生活様式、作業力といったものは普通児とはあまりかわつていない。

第二のポイントとして精神遅滞児を教育するのに抽象的な知識を中心とした算数、国語、理科などの教育は可能であるかが問題となりますがドルの研究した結果から見れば不可能に近い線がでてくるようです。(第一図参照) それよりは具体的な生活上の能力からは精神遅滞児でも、年令と共に伸びてゆくものだということが成立します。(第二図参照) し

かし精神遅滞児に特殊教育をすれば実社会の中で実際に役立つものになれるのか、これが疑問になるわけですから換言すれば職業人として働ける精神遅滞児になれるか。この点について私は特殊な異常のもち主でない限り営利事業の中で見事に採算ベースにのせて雇用することは可能に思う。それには人間関係を円滑に結ぶことが大切であり、理解と認識のある職場が必要されるわけです。しかしそのような職場は実際の例を見て非常にびびるものにはすぎません。だからと云つて雇主側、職員などに理解していただくことは自由であるが雇主側が精神遅滞児を雇用する成否を決定するのも自由である今日ここに難しい社会体制があるわけです。

自分から進んで伸びようともしない精神遅滞児の才能を活用させてやる機関、体制が十分でない限り大人になつても社会自立は不可能になるわけです。精神遅滞児の能力を伸ばそうと思えば無限に伸ばすことが出来ます。それには適切に完備された施設の体制、人事構成であれば可能なのです。この施設に火蓋を切つて進む第一線は手をつなぐ親の会々員一人々々の使命であります。精神遅滞児の能力を無限に引き伸ばすか縮めるかは親の勇氣と実践にかかっているのではないのでしょうか。



見よこの映画「われら人間家族」

近代映画協会作品

文部省選定
優秀映画鑑賞会推薦
青少年映画審議会推薦

「生きとし生ける者すべて陽の恵みを受ける資格がある。」

この映画を鑑賞し生命の尊さ、生命の神秘さに思いを深めよう。

千葉県柏市の桐友学園を舞台に政治や社会の外に置き忘れられた不幸な子どもたちの実態を記録的にとらえ精神薄弱児の問題に深い理解と愛情をもつことによつて、人間のいのちの尊さひいては真の人間愛を広く訴えようとする異色作品です。

現社会において精神薄弱者は人間として認められていないといつても過言ではなく一般の人たちも無縁で異質な世界の問題として片付けがちである。しかしながら精神薄弱になる原因は特殊な状況ではなくごく日常的で誰れでもが自分の子どもに持つ危険性を十分に秘められているのである。

精薄の子を持つ親だけでなく、結婚する方、母となる方、生まれでる子のために、この記録映画をごらん下さい。生まれてくる子のうち三〇人に一人が精神薄弱児だといわれています。この現実を探つて訴える愛と感動のものがたりであります。現在日本に約三百万人の精薄者が

いるといわれております。これらの不幸な方々をいたわる温かい手が、如何にたいせつであるか、映画は強く強く訴えます。なお各県の親の会

P.T.A、婦人会等がこの映画をごらんいただいでての事後の話し合いのために、「母と娘のための教室」が設けられるなど産婦人科、精神科の専門医、親の会の方々が相談に応じられて防止対策に万全の協力をはらっている地方があります。

スタツフの脚本、監督である勝目貴久氏は始めて演出するに当つて次の様なことをのべている。

昨年の夏、精神薄弱児の収容施設を訪ね強烈な衝撃を受けた。人間とは何か——観念的なテーマを端的に鋭く表現出来るものはないかと深く

求めてきた私は精神薄弱児に出会つた瞬間その示唆を得たような気がした。今迄、さまざまなドラマで人間が追究されてきたが、彼等ほど決定的な解答を与えてくれたものはないしかも社会に見捨てられている精神薄弱児の現状は現代の社会構造、人間意識を語つて余りある。

考えてみれば我々も精神薄弱者も同じ世界に住み同じ社会体勢の中に

生きてゐるのだ。正常な人間はただ正常であるというだけで人間性を尊重されているような錯覚をしているに過ぎない。人間の価値は金銭によつて評価されている現代で、すべて人間は単に利益追求の対象としかみなされていまいということだ。従つて必然的に利益で還元されない精薄者は疎外される。人間性で生命の尊重から発していないということである。

この事実をドキュメンタリードラマの手法で捉えながら、ものごとりは我々の心につたえた。精薄者を通して人間の本质を語り、精薄者が置かれた現況を通して人間の価値観を生命の尊重の次元に引き戻すことを主張した。……と勝目氏はのべている。

次にドラマの内容を簡単にひろつてみますと、ある幸福な若夫婦に、赤ちゃんと生まれた。しかしその子秋子は精神薄弱児だった。

それも重症なのだ。今まで平和で幸福だったこの夫婦の生活は、くずれた。「この子さえいなくなつたら……」一家心中さえ考えた。秋子の自然死まで願つたとした。

ある寒い夜、薄着の秋子をおんぶ

近代映画協会作品

われら人間家族

—精神薄弱児を描くドキュメンタリードラマ—

生まれてくる子のうち30人に1人が精神薄弱児だといふ。この現実を、あなたはご存知でしょうか。この映画は結婚するあなた、母となるあなた、生まれでる子のためのものです。

脚本監督 勝目貴久

製作・吉野三保子
文部省選定 撮影・三宅義行
優秀映画鑑賞会推薦 録音・丸山國衛
中央児童福祉審議会推薦 編集・青山一郎
青少年映画審議会推薦 音楽・山内正
東京地婦連推選

協賛 雪印乳業株式会社
朝日新聞厚生文化事業団
後援 N H K 厚生文化事業団



して夜道を歩きまわる父親、それでも秋子は生き続ける。朝、目がさめて「ひよつとすると治つていのではないか」と秋子の寝姿をのぞきこむ母親、せつない気持のねざめが続いたのもこのころだった。

そしてこの夫婦が、不幸なのは私ただけではないことに気がついたのは精神薄弱児を持つ親の会に出席してからである。単なる母としての愛でなく、もつと積極的な広い人間愛を秋子に注ごう生きている秋子の生命を愛そうと思う。やがて母親はあれほど恐れていた二度目の出産を

進んで望むようになる。母親はあらゆる力を尽して精薄児の原因となることを予防して出産を迎える。

医師は「異状はありません」と宣言する。秋子の時と同じようなことばであった。母親はもしこの子が精薄者であったとしても、人間として愛してゆこうと思うのだった。

「われら人間家族より」

近い将来山形県内各地で公開上映されることと存じます。

この映画を通して精神薄弱者は何故生れるか、そして、その防止対策はいかようになすべきか、人間愛とはどの様なものかなどをドラマは深く掘り下げて私達にうたえてい

お金の建設コロニー(者)児薄精 の進進行具体的にが願願

。県PTA連合会の方々へ賛助会員
のお願い。

・手をつなぐ親の会員へお願い。
納入金一人壹千円
各支部理事の方に一括チラシを送付いたしました。資金納入の際芳名簿に住所氏名を御記入下さい。
各理事はまとまりましたときに各支部毎に同封した振替用紙で郵便局へ振込んで下さい
なお振替口座は
山形一三三二番
社団法人
山形県手をつなぐ親の会

・九月上旬天童で開催された県PTA連合会の大会で御賛同を得ました。

・各単位PTA会長さん、県内小中学校々長さん宛のチラシ配布、集金のお願いを十月十四日に発送し集金法送金法などを記入し十二月中完了するようお願いいたしました。

・県内小中学校児童生徒数のチラシを各学校、分校別に十月二十七日に発送ぐ完了いたしました。

・会員の皆様とともに私共の長年の願であるコロニー建設が一日も早からんことを念じつつ多くの方々の御協力をよろしくお願い申し上げます。

この機会に新入会なさる方も多数ですよう又、まだお互に話し合っていない地区の方々には特殊学級担任の先生方とご相談の上一人でも多くの方と手と手をつり合つて子どものしあわせを願ひましょう。

手をつなぐ

母の歌



私達はこの子の幸せの為に長い歲月の苦難も悲痛の叫びも朝露の如く

Modelato C=100 久富吉静 作詞 作曲

あ つ き ね が い に い き る ー ひ と ー い

く と せ か さ ね て い ま も な お ー と

も ー に が な ら ん ま こ と も て ー て

と て お つ な ぐ は は わ れ ら ー

消えうするを憶えつつ呻るの涙は、感謝と讚美の涙にかえて下さるこの歌は過去に於て現在に於てこの子の為に涙の祈禱を捧げ、また捧げつつある親の姿が詩のなからにじみでておられます。

苦しい時も、悲しい時も、寂しい時も、この歌を唄つて幸せの希望を榮光に帰して堅く強く深く明日の戦いに押し進もうではありませんか。

手をつなぐ母の歌

- 一、熱きねがいにいきる人
いくとせかさねて今もなお
共にかたらんまこともて
手と手をつなぐ母われら
- 二、深きねがいにいきる人
行く手をのぞみて幸せを
共にひらかんまこともて
手と手をつなぐ母われら
- 三、同じねがいにいきる人
光のさしそう母の座を
わかたんものとまこともて
手と手をつなぐ母われら

全日本精神薄弱者育成会

全国大会の開催について

本年全日本精神薄弱者育成会創立十五周年を期して記念すべき全国大会を皇太子殿下、同妃殿下の御台臨を仰いで来る十一月二十・二十一日の両日に亘つて九段会館で開催することになりました。

本大会の内容として十一月二十日(日)は研修会で各ブロック協議会の動向および、厚生省精神薄弱者福祉審議会中間報告書、文部省特殊教育振興十年計画等を主題に協議して、十一月二十一日(月)は創立十五周年記念手をつなぐ親の会全国大会と陳情をおこなうことになつていきます。